

保護者・教職員の皆様へ

岩手県PTA連合会からのメッセージ

～ 子どもたちが笑顔で過ごせる学校・家庭・地域に ～

近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わり、子どもたちに関わる様々な事件や事故が報道されています。私たちの住む岩手県においても、いじめを苦にしたとみられる問題で中学生が自ら命を絶つという大変悲しく痛ましい出来事が起きました。

子ども一人一人は、私たち親にとって夢であり希望であり、将来を担っていく大きな宝であります。そのかけがえのない命がこのような形で失われたことは、誠に残念でなりません。次世代を担う子どもたちの命を守り育てていくことは私たち大人の責任であり、使命です。この悲しくて痛ましい出来事を決して忘れることなく、命の大切さを第一に考えて子どもたちを家庭や学校、地域で健やかに育てていかなければなりません。

私たち岩手県PTA連合会は、「すべては、子どもたちの笑顔のために」を合言葉に社会教育や家庭教育を学ぶ活動をしております。このような出来事を二度と繰り返すことなく、すべての子どもたちにいじめや暴力のない『笑顔で過ごせる学校、家庭、地域にしたい。』『安全で安心な生活を送らせたい。』と願い、保護者や教職員の皆様にメッセージを送らせていただきます。少しでも皆様のお役に立てていただければ幸いです。

一、自他の命や人権を尊重する心を育てよう

子どもたちは、多くの人たち、様々な人たちの間で暮らしています。誰もが安全で安心な生活を送るためには、自他を思いやり、自他を尊重する心と態度、行動が不可欠です。

いじめや暴力、他人を軽視するような子どもの言動や行動には、毅然とした態度で接しながら、みんなで子どもたちの心を育てていきましょう。

一、子どもの心に寄り添った信頼関係、人間関係づくりをしよう

子どもは皆、何らかの悩みや不安を抱えながら生活しているものです。子どもたちの日常をよく観察し、互いに情報を共有しながら子どもの心に寄り添った温かな声かけをしていきましょう。そのために、何でも話し合ったり、相談したりすることのできる親子関係、師弟関係、そして保護者と教職員の関係など信頼ある人間関係を築きましょう。

一、正しい善悪の判断力と行動力を身につけさせよう

「親の背を見て子は育つ」と言われます。子どもは、人としての生き方や考え方を親や学校の先生方など身近な大人を見て学んでいます。そのためにも身近な大人は子どもたちのよき手本、見本となるよう努めなければなりません。子どもたちが正しい善悪の判断力と行動力を身につけることができるよう、大人の責務を果たしましょう。

保護者と教職員が心をつなげて、子どもたちの命とくらしを守りましょう。

平成27年9月

一般社団法人岩手県PTA連合会 会長 金谷 茂